

* 2026 年 2 月 第 2 版

2026 年 1 月 第 1 版

機械器具 32 医療用吸引器

管理医療機器 歯科用吸引装置 (JMDN コード：34859000)

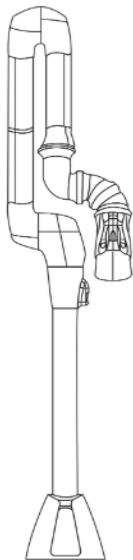
口腔外バキューム レジェーラ

【禁忌・禁止】

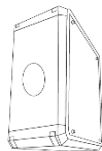
〈使用方法〉

- 1) 義歯などのチタン材料、有機溶剤（レジ
ン液、アル コールなど）を吸引しないこと。
[チタン材料又は有機溶剤により火災等を引き起
こす 可能性があるため。]
- 2) 液体を吸引しないこと。
[感電を引き起こす可能性があるため。]

* 【形状・構造及び原理等】



本体ユニット



モーター弁ユニット

〈原理〉

吸引スイッチを押すと吸引を始め、必要に応じて LED ライトのスイッチを押すと LED ライトが点灯する。1 台の吸引装置に複数の本製品を組み合わせた場合、使用しない本製品を吸引させないために、モータ駆動のシャッタを備えてある。シャッタは設置環境に合わせて床上・床下のどちらにも設置出来る。シャッタは、吸引スイッチの信号を歯科用吸引装置 ポンプの ON/OFF 信号に変換する働きもする。

〈動作保証条件〉

周囲温度：5～30℃

【使用目的又は効果】

歯科治療患者に対しての歯科治療において、高速切削等により口腔外に飛散する飛沫(水、血液や唾液及び歯の破片)を吸引除去する

【使用方法等】

【使用方法】

1. 【歯科診療前】

- ①メインスイッチを ON にしてください。
- ②透明フードを取り付けてください。

2. 【歯科診療中】

- ①先端グリップを持ちアームを患者の口元に近づけてください。目安としては口元から約 10cm です。
- ②吸引スイッチを ON にすると吸引が始まり、歯科治療における高速切削等により口腔外に飛散する飛沫の除去が可能になります。

製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。

- ③LED ライトを使用したい場合は LED スイッチを押してください。
- ④吸引スイッチをもう一度押すと、吸引が OFF になります。
- ⑤先端グリップを持ちアームを患者の口元から遠ざけて、収納状態としてください。

3. 【歯科治療の再開】

- ①先端グリップを持ちアームを患者の口元に近づけてください。
- ②先端グリップの吸引スイッチを押すと吸引が再開します。

4. 【歯科治療の終了(患者ごと)】

- ①吸引及び LED ライトのスイッチを OFF にしてください。
- 先端グリップを持ちアームを患者の口元から遠ざけ、収納状態として、治療を終了してください。
- ③アームから透明フードを取り外してください。
 - ④透明フードの清掃を行ってください。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- 1) 本製品外装の清掃に用いる洗剤は、取扱説明書で指定したものを使用すること。
- 2) 歯科用ユニット又は无影灯などの機器を動かす際には、本製品に接触させないこと。(患者への接触、あるいは本製品が破損するおそれがある。)
- 3) フードを外して使用しないこと。
- 4) アームに必要以上の荷重や衝撃を与えないこと。
- 5) 過熱する恐れがある光等、熱源にさらしての使用、放置はさけること。
- 6) 吸引口付近に物を置かないこと。

7) 植込み型心臓ペースメーカ又は植込み型除細動器を使用している患者において 使用中、患者に異常が見られた場合は直ちに本製品の電源スイッチを切り、使用 を中止すること。(本製品から発せられる電磁波によりペースメーカ又は除細動器の機能に障害を与えるおそれがある。)

8) LED ライトを直視しないこと。(目に障害を与える可能性がある。)

【保管方法及び有効期間等】

〈保管の条件〉

下記の条件にて保管すること。(但し、結露しないこと)

周囲温度：－10℃～40℃

相対湿度：20～90%

〈耐用期間〉 5 年間。

(自己認証(当社データ)による。)

※正規の使用方法、保守点検、消耗品などの交換を 行った場合に限る。

【保守・点検に係る事項】

頻度 内容

(概要)

始業前 : 装置の外観構成に異常がないこと。

患者ごと : フードの清掃。

終業後 : 装置外観、吸引管路内部の清掃。

1) 吸引管路内部の清掃に用いる洗浄剤は、取扱説明書で 指定したものを使用し、特に発泡性のある洗浄剤は吸引しないこと。

詳細は取扱説明書を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〔製造販売業者〕

アドバンスジャパン株式会社

埼玉県川口市大字東本郷 118-1

048-234-8291

製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。